



下松市 栽培漁業センター

うらめ★パーク笠戸島



① タッチングプール

日本最大規模のタッチングプールには、笠戸湾でとれる魚が放養されており、はだして入り直接触れ合うことができます。

② 笠戸ひらめの餌やり体験

栽培漁業センターで育成しているヒラメに餌やりをすることができます。水槽には、笠戸ひらめが泳いでおり、とても迫力があります。

・えさ1個100円・団体は要予約



③ 第3生物飼育棟 見学スペース

大型の水槽を15基備えており、マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ、アイナメ、ウマヅラハギを卵から育成しており、見学スペースから見学することができます。



④ ロビー

図書コーナーや新鮮な「笠戸ひらめ」の直売、おみやげ品の販売も行っています。また、事務所には動物職員(猫)が在籍しており、来館者を出迎えてくれます。

⑤ 調理室

下松市産の新鮮で美味しいお魚を沢山の方に知ってもらうため、魚の料理教室や笠戸ひらめのさばき方教室を行っています。

一般利用の場合: 1時間580円(要予約)



⑥ 研修室

施設見学者に対して栽培漁業の説明を行ったり、打合せや会議を行うことができます。最大で70名の受け入れが可能です。

一般利用の場合: 1時間580円(要予約)



下松市栽培漁業センターとは…

下松市栽培漁業センターとは…

下松市栽培漁業センターは、昭和58年から水産資源の維持拡大を図るため、種苗生産・中間育成による栽培漁業の推進や、下松市の代表的な観光資源である「笠戸ひらめ」、「笠戸とらふぐ」の養殖に取り組んでいます。

このたび、令和2年2月に第3生物飼育棟を建設し、これまでの「マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ」の3魚種の種苗生産の増産に加え、新たに「アイナメ、ウマツラハギ」の2魚種の種苗生産を開始します。併せて魚食普及活動や水産業啓発の充実を図るため、タッチングプールや研修棟等の施設を整備しました。

飼育工程

1 process 種苗生産

親から産まれた卵をかえし、プランクトンや人工の餌を与え、育てます。自然の海では死んでしまうことが多い時期に、室内の水槽などで飼育管理します。

2 process 中間育成

人の手で大切に育てられた種苗は、自分で餌をとる能力や、外敵から襲われても逃げたり隠れたりする能力が不足しているため、ある程度大きくなるまで育てます。

3 process 種苗放流

中間育成で大きくなった種苗は、育ちやすい環境の海に放します。

① センターから車で5分 国民宿舎 大城(おおじょう)

② センターから車で6分 笠戸島家族旅行村

③ センターから車で3分 はなぐり海水浴場・海上遊歩道

④ センターから車で1分 夕日岬

下松市栽培漁業センター いずみ★パーク笠戸島

TEL.0833-52-1333 0833-52-1222(観光案内) FAX.0833-52-1335

開館時間：9:30～16:30

休日：火曜日・水曜日(ただし、祝日と重なる場合は振替)

※都合により臨時休館する場合があります。

〒744-0001 山口県下松市大字笠戸島456番地 8

QRコードでHPへ



下松市栽培漁業センターとは…

下松市栽培漁業センターは、昭和58年から水産資源の維持拡大を図るため、種苗生産・中間育成による栽培漁業の推進や、下松市の代表的な観光資源である「笠戸ひらめ」、「笠戸とらふぐ」の養殖に取り組んでいます。

このたび、令和2年2月に第3生物飼育棟を建設し、これまでの「マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ」の3魚種の種苗生産の増産に加え、新たに「アイナメ、ウマツラハギ」の2魚種の種苗生産を開始します。併せて魚食普及活動や水産業啓発の充実を図るため、タッチングプールや研修棟等の施設を整備しました。

飼育工程

1 process 種苗生産

親から産まれた卵をかえし、プランクトンや人工の餌を与え、育てます。自然の海では死んでしまうことが多い時期に、室内の水槽などで飼育管理します。

2 process 中間育成

人の手で大切に育てられた種苗は、自分で餌をとる能力や、外敵から襲われても逃げたり隠れたりする能力が不足しているため、ある程度大きくなるまで育てます。

3 process 種苗放流

中間育成で大きくなった種苗は、育ちやすい環境の海に放します。

マコガレイの種苗生産

卵 0日 20日 27日 35日

アイナメ ウマツラハギ

オニオコゼ キジハタ マコガレイ

以下7種類は、県栽培漁業公社から稚魚を購入して育成しています。

アイナメ ウマツラハギ

オニオコゼ キジハタ マコガレイ

ヒラメ トラフグ クルマエビ ガザミ

アワビ カサゴ アカガイ